

EU Indicators

欧州経済指標コメント：11月ドイツ消費者物価（確報）

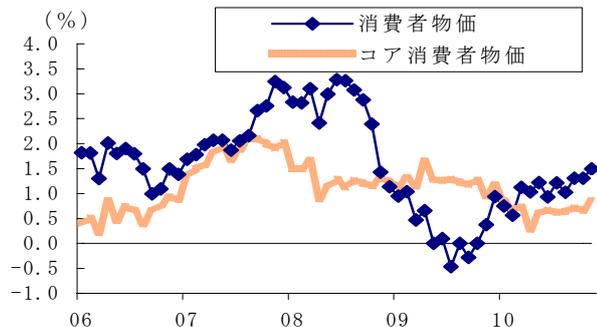
発表日：2010年12月9日（木）

～コア物価の上昇が加速、ECBの政策運営の不安要素となりかねない～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

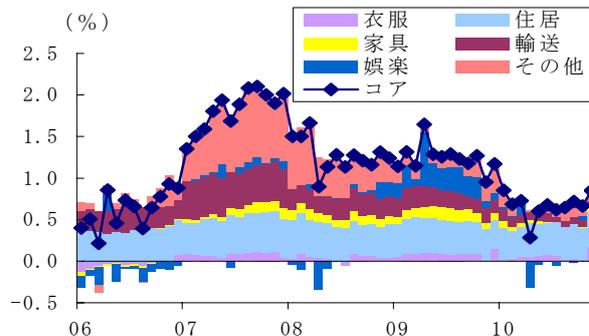
- ・ 11月のドイツの消費者物価の確報値は前年比+1.5%（速報値から不変）と、前月の同+1.3%から加速し、2008年10月以来の上昇率を記録。季節調整後でも前月比+0.3%（年率換算すると+3.4%）と、これまでと比べてやや高めの伸び。前年比の水準自体は今のところ高い訳ではないが、後述するコア物価の動向と合わせて、変化の方向性が上向きである点には注意を要する。
- ・ エネルギー・食料品価格が引き続き全体の計数を押し上げたが、コア物価（変動の大きい食料・エネルギー・アルコール・たばこを除く）の上昇率も加速（前月：前年比+0.7%→今月：同+0.9%）、これまでの同+0.6～+0.7%の推移から底離れした。コア物価の上昇加速を主導したのは、衣服・履物（+0.3%→+2.7%）と家具・家財道具（+0.1%→+0.7%）。何れも前年同月の“裏”が押し上げた面もあるが、とりわけ衣服・履物は過去数年のトレンドと比べて突出して高い伸び。
- ・ 衣服・履物の上昇率の加速が大幅かつ急で、同月の小売統計では小売デフレータに目立った加速が見られないことから、何らかの特殊要因が働いた可能性が高い。とは言え、失業者数の減少が続き、賃上げ報道も散見されるなかでのコア物価の上昇加速には、不気味さを覚えなくもない。今後も物価の上昇トレンドが続けば、2日の理事会で流動性縮小方針の棚上げと国債購入の積極化を迫られたECBは、財政不安の抑制と域内物価の安定との間で難しい政策の舵取りを迫られることになる。

■ ドイツの消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・エネルギー除く
出所：ドイツ連邦統計局

■ ドイツのコア消費者物価の要因分解（前年比）



注：住居・輸送費からは各々エネルギー価格を除いた
出所：ドイツ連邦統計局

■ ドイツの消費者物価（%）

		2009				2010											
		4Q	1Q	2Q	3Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
消費者物価	(前期比)	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.3			
	(前年比)	0.4	0.8	1.1	1.2	1.0	1.2	0.9	1.2	1.0	1.3	1.3	1.5				
コア消費者物価	(前年比)	1.1	0.8	0.5	0.7	0.3	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9				
食料品	(前年比)	-2.5	-0.8	1.3	2.8	1.5	1.3	1.2	2.6	2.8	3.0	2.9	3.4				
アルコール	(前年比)	0.8	0.7	0.5	0.7	0.7	0.4	0.3	0.7	0.7	0.7	0.9	1.0				
タバコ	(前年比)	5.5	5.4	3.5	0.1	5.3	5.0	0.4	0.5	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2				
エネルギー	(前年比)	-3.0	1.7	4.3	3.9	5.2	4.9	2.8	4.6	2.5	4.6	5.0	5.1				
住宅用燃料	(前年比)	-6.1	-4.3	0.0	1.6	-0.2	0.5	-0.2	1.3	1.1	2.5	3.3	4.0				
自動車燃料	(前年比)	3.6	14.8	12.8	8.4	16.4	14.0	8.5	11.2	5.3	8.7	8.4	7.0				

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。
出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。